

第3章 研究報告

1 研究体系（平成28年度）

区分	No.	研究課題	研究年度	県施策項目	共同研究機関	担当部
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究の推進	1	食品中のノロウイルス検出法に関する研究	27-28	食の安全・安心の確保		保健科学部
	2	食品中の放射性物質測定に関する研究	26-28			衛生科学部
	3	医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析	28-29	地域の保健医療体制の確立	岩手県立大学	保健科学部
	4	岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究	28-29			
	5	岩手県新人保健師研修の評価に関する研究	28			
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究の推進	6	ウイルス媒介性節足動物（ヒトスジシマカ）の生息に関する研究	27-28	地球温暖化対策の推進	国立感染症研究所 昆虫医科学部	地球科学部
	7	WET手法を用いた水環境調査のケーススタディ	28-29	多様で豊かな環境の保全	国立環境研究所ほか	環境科学部
	8	微小粒子状物質の発生源解明に関する研究	26-28		国立環境研究所ほか	地球科学部
	9	酸性雨による環境影響の総合的評価	27-28		全国環境研協議会北海道・東北支部酸性雨専門部会	
10	新指標を用いた岩手県内光化学オキシダント濃度の長期的評価	28-29				
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	11	麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究	28-29	食の安全・安心の確保	水産技術センター	衛生科学部
	12	下痢性貝毒に関する超臨界抽出法の妥当性に関する研究	28-29			
	13	糞便からの腸管出血性大腸菌(EHEC)検出法の検討	28-30		検査部	
	14	有機フッ素化合物に係る日中韓汚染状況比較及び生体影響解明等に関する研究	26-28	多様で豊かな環境の保全	中国大連理工大学、中国医科大学、岩手大学、韓国全南大学、国立環境研究所	環境科学部
	15	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質環境実態調査	27-28			
	16	化審法関連物質の排出源及び動態の解明	28-30			
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究の推進	17	希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究	24-28	多様で豊かな環境の保全	環境省ほか	地球科学部
	18	イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究	28-32		東北鳥類研究所、京都大学野生動物研究センター、猛禽類保護ネットワーク、環境省猛禽類保護センター	
	19	ヘア・トラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発	24-28			
	20	ニホンジカの個体数推定と将来予測に関する基礎的研究	26-28			
計	20テーマ					